



# スズキ MRワゴン ニッサン モコ

## 専用シートカバー取付説明書

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

- \* 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- \* 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

6000/6001/6002/6003  
6004/6005/6006

## シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付けられています。仮合わせの時点で製品に何らかの障病があった場合は、お買上げ頂いた販売店、または当社までご連絡ください。事前に連絡がなく装着された後での、製品の返品 交換等につきましてはお受け出来ません。またお客様の注文間違いによる製品の返品 交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。
- 本製品は梱包時にシワが入る場合があります。ある程度は正常に取付けをおこなうことで生地が伸びシワは解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定穴やバックテーブル等）を損なわないように製造されていますので、背もたれや座面に穴加工されているタイプのシートカバーがあります。
- 万が一ご注文された商品と違う、不良品、配送中の破損等、ございましたらご連絡ください。速やかに商品を交換もしくは修理対応させていただきます。  
※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間を頂く事があります。
- 箱の多少の破損、商品の細かい傷、シワ等は不具合対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。

## 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ開閉部分に、SRSサイドエアバッグ対応の縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかけられないようにご注意ください。また、シートカバーを正しく取付けないと衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず重大な傷害に及ぶか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。  
※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準がないため自社独自の対応規格となります。

## 本製品に関しての注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや、本革側に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てられると、表面のツヤ変化 変形 変色の原因となります。また、高温、多湿のところろに放置されると硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着してから約1～2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管してから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用していますので、燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自自治体の処理方法に従ってください。

## シートカバー装着時の注意事項

- 当社のシートカバーはフィッティングを重視して製造しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張り過ぎると抜けたり、切れる恐れがありますのでご注意ください。
- シートカバー(スエードタイプ・本革バンチングタイプ・ECTクラツィオ アルカンターラセクション)の背もたれ上部に加工されているヘッドレストの穴は生地が伸びにくいいため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着して頂くと、作業がスムーズに進みますので、当社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らな広いスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態(扉を開放されたまま)にされると、バッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- フィッティング性を重視した当社のシートカバーを取付けた後、元に戻した際(シートカバーを取り外した際)にシート自体にシワが残る場合があります。予めご了承ください。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をお掛けしますが当社までお問い合わせください。
- 当社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように製造していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。予めご了承ください。
- 取り付け時(シート本体のパーツを取り外す場合等)及び、使用時におきた車輛への損傷、車輛の不具合、人体への怪我(シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります)について、当社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、取付けを行ってください。またいかなる場合でも商品代金、送料を保証の上限とし、それ以外の保証はできませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換取付け、取付け取り外し等の工賃、取付け等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましては一切の責任を負わないものとします。

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

**TEL 072-330-8000**

# シートカバー取付補助ビニール使用方法

背もたれ部分の取り付けの際、シート本体とシートカバーの摩擦によりスムーズに入らない場合があります。その場合、付属のビニールを下記の手順で使用していただくと取り付けが容易になります。

※ベーシックシリーズには取り付け補助ビニールは付属しておりません。



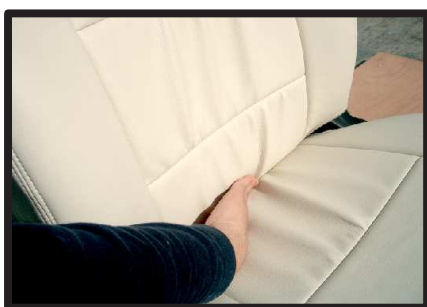
①背もたれカバーを取り付ける前に補助ビニールを被せます。補助ビニールは後で取り外すのでカッター等で両サイドに切込みを入れて取り外し易いようにしておきます。



④ヘッドレストの台座部分を穴から取り出します。生地へのびを利用して横からもぐりこませるように取り出して下さい。無理に入れると破れる恐れがありますのでご注意ください。



②背もたれのカバーをシートのラインに合わせながら被せます。肩口部分にたるみがなくなるまでしっかりと入れ込んで下さい。



⑤背もたれの曲線にたるみなくカバーを密着させながらマジックテープ部を背面と座面の間に入れ込みます。(車種により取付方法が異なります。)



③シートカバーをしっかり入れ込むことができれば、ビニールを引っ張り取り外します。



⑥入れ込んだ部分を取り出しマジックテープで固定します。

# コンビニフックについて

一部車種の1列目背面にあるフック部分は穴あけ加工がされておりません。フックがネジで固定されている場合、カバーを加工すれば使用することが可能です。



- ①ネジを外します。ツメで固定されている場合がありますので、取り外しには十分ご注意ください。ツメが破損すると元通りに取り付けられなくなる場合もあります。



- ②背もたれカバーを取り付けます。シート本体とカバーがずれていないかをよく確認した上で、フックの位置に切り込みをいれます。



- ③切り込み部分にフックを取り付けて完成です。

# 1 列目運転席側座面

シートリフターで座面を上げておくと作業がしやすくなります



①カバー外側面の加工穴に、シートリフターのレバーを通します。

※シートリフターの無い形状により、加工穴が無いカバーもあります。その場合は手順③から取り付けを行って下さい。



④背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



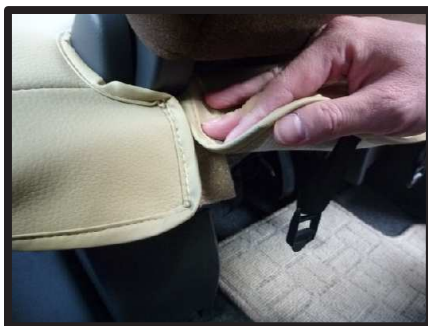
②シートリフターのレバーを取り出すと、このようになります。



⑤入れ込んだ生地を後ろ側から引き出します。



③シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。



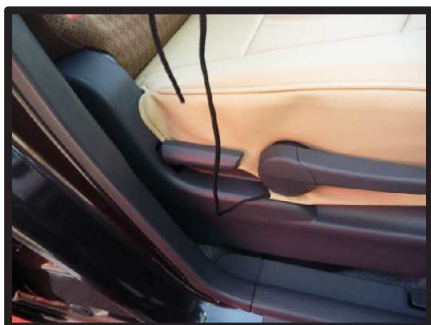
⑥引き出した生地を図のように、マジックテープで固定します。



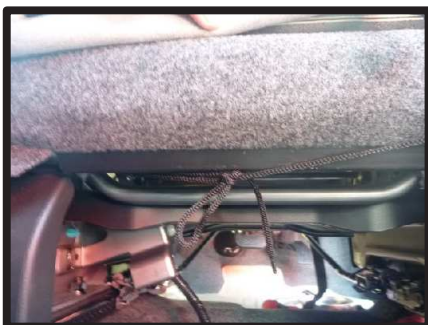
⑦カバー外側面の生地をシートのプラスチック部の隙間に入れ込みます。



⑩一方のヒモで輪を作り、もう一方のヒモを輪に通し引き絞ります。強く引き絞ると、ヒモが切れる恐れがありますので注意して下さい。



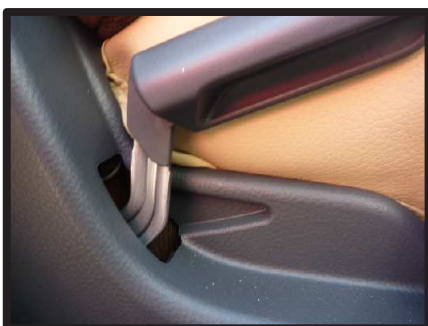
⑧カバー両側面には、図のようにヒモが付いています。（図は外側面）



⑪引き絞ったヒモを図のように、結び留めます。

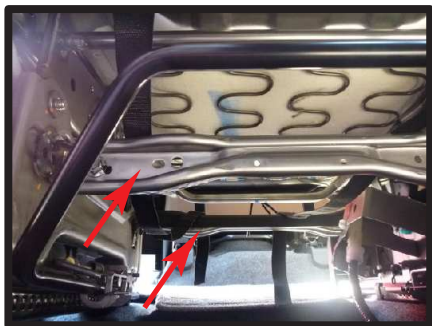


⑨外側面のヒモは、背もたれと座面の隙間を通し、後ろ側から引き出します。内側面のヒモは、後ろ側に出ています。

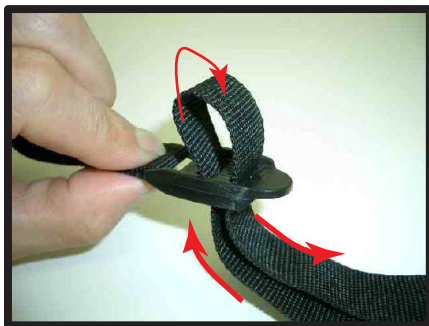


⑫カバー外側面にヒモが見えている場合は、図のようにヒモが隠れるようにカバーをシートのプラスチック部に入れ込み直します。

# 1 列目運転席側座面続き



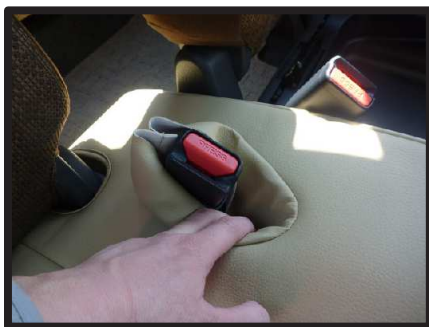
⑬カバー前側に付いているベルトを、シートの下側を通し、後ろ側へ引き出します。この際、ベルトは矢印位置にあるバーの上側を通すようにして下さい。



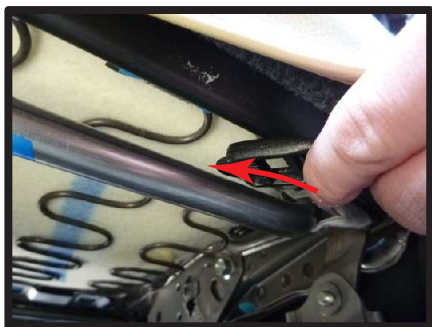
⑭ベルトの固定方法は、①～③の順番にベルトをバックルに通し、ベルトを引くと、カバーの前後が引き絞り固定されます。



⑬⑭で通したベルトを、後ろ側から引き出します。



⑮シートベルトのバックル位置に、生地を入れ込みます。



⑯カバー後ろ側に付いているバックルは、図のようにシートの金属部分の上側を通します。

⑭で引き出したベルトをバックルに



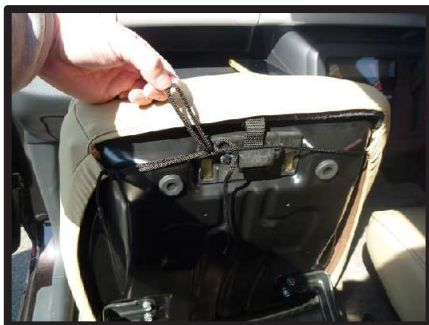
⑰カバーのラインを整え、1 列目運転席側座面の完成です。



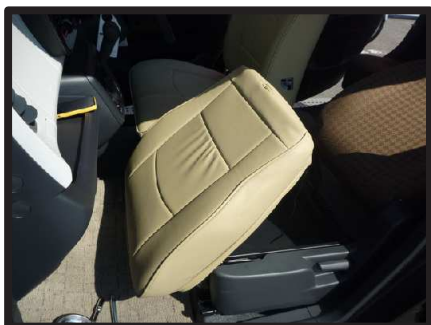
# 1 列目助手席側座面



①シートを跳ね上げ、前側からカバーをかぶせます。



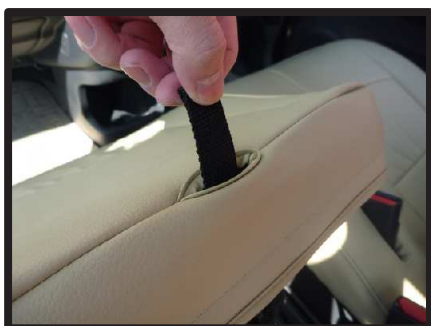
④カバー左右のヒモを運転席側と同様に固定します。



②シートのラインに合わせてカバーの位置を整え、カバー後ろ側のマジックテープでシートに直接固定します。



⑤余ったヒモは、図のようにカバーの中に入れ込むようにします。



③シート跳ね上げ用ストラップを、カバーの加工穴から取り出します。



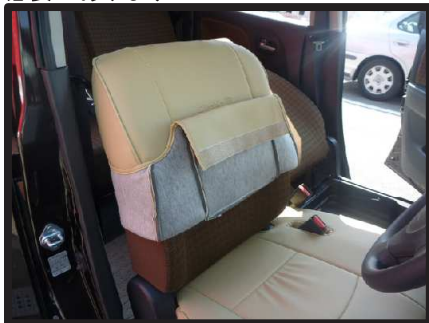
⑥カバーのラインを整え、1列目助手席側座面の完成です。

# 1 列目背もたれ

運転席側装着時には、アームレストを取り外す必要があります



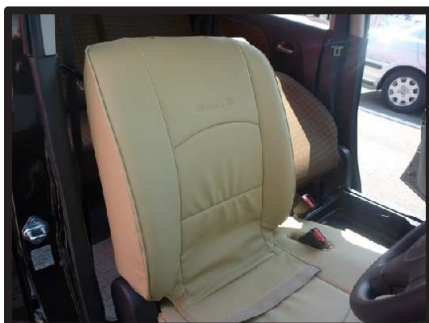
①始めにアームレスト側面にあるプラスチックキャップを外します。



④カバーを半分程裏返した状態で、シートにかぶせます。  
この際、シートの肩口までしっかりかぶせます。



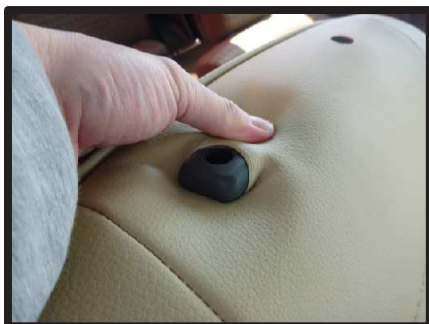
②ラチェット等を使用し、ボルトを取り外します。



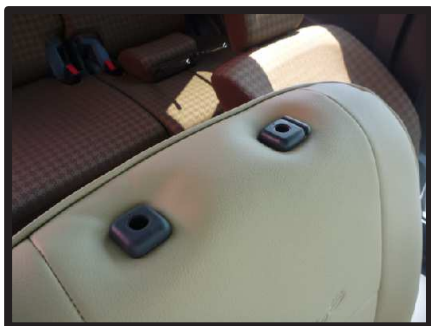
⑤シートのラインに合わせて、カバーをかぶせて行きます。



③ボルトを外すと、図のようにアームレストが取り外せます。



⑥ヘッドレストの台座部分をカバーの加工穴から取り出します。生地伸びを利用して横から潜り込ませるように取り出します。



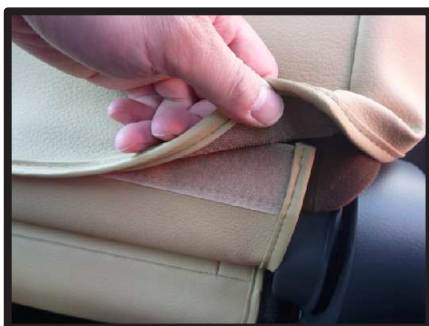
⑦台座を取り出すと、このようになります。  
ます。



⑩入れ込んだ生地を後ろ側から引き出します。



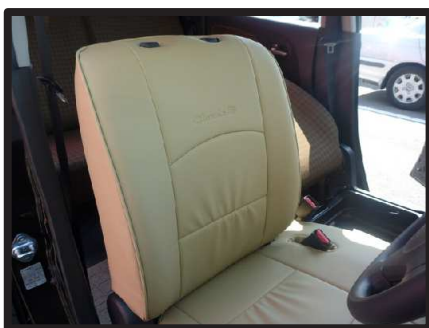
⑧図の①～③の手順で生地をシートに馴染ませ、カバーのシワを無くしていきます。



⑪引き出した生地と、カバー背面の生地同士をマジックテープで固定します。



⑨背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑫カバーのラインを整え、1列目運転席側背もたれの完成です。  
助手席側は一部形状が異なりますが同様に取付けます。

## 2列目座面

※2列目座面一体型の車は8ページの説明をご覧ください



①シートの前側からカバーをかぶせます。



④③と同様に、背もたれと座面の隙間に生地を入れ込み、マジックテープでシートに直接固定します。



②シートベルトのバックル位置にカバーをかぶせます。背もたれを引き倒すと座面も動き、図のように隙間が出来るので、作業がしやすくなります。



⑤カバー両側面には図のようにヒモが付いています。



③背もたれと座面の隙間に生地を巻き込むように入れ込み、マジックテープでシートに直接固定します。



⑥両側面のヒモを、シートの下側で固定します。

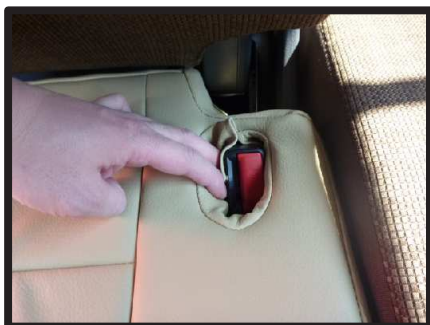
## 2列目座面一体型



⑦図のように、ヒモはシート下側で結び留めます。



①2列目座面を外します。シートは左右の矢印部分にあるロックで固定されています。ロックは座面を上を持ち上げることで外れます。



⑧シートベルトバックル部に生地を入れ込みます。



②シートの付け根部分もロックがかかっています。矢印方向、斜め内側に座面を押しながら、持ち上げるように引くとロックが外れます。



⑨カバーのラインを整え、2列目運転席側座面の完成です。助手席側も同様に取り付けます。



③シートを車の外へ出します。車から座面を運び出す際は、車体に傷を付けない様に慎重に行ってください。



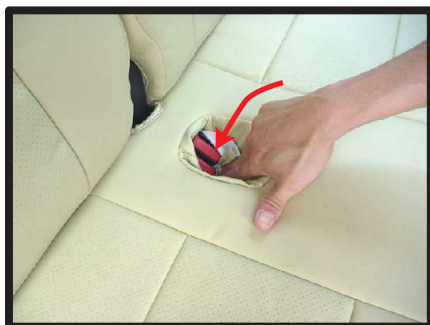
④カバーを裏返してシートラインに合わせます。



⑦座面は背もたれカバーを取り付けた後に車内へ戻します。



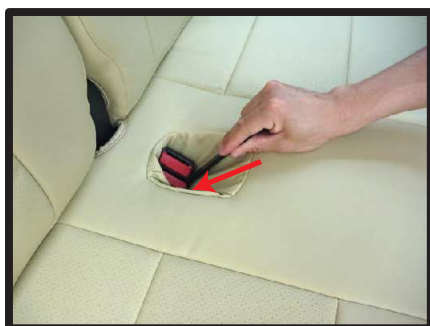
⑤シートラインからずれないように全体にかぶせます。



⑧シートベルトバックル部に生地を入れ込みます。



⑥座面を裏返し、4本あるベルトを固定し、カバー側面から出ているヒモは片側のヒモで輪を作り、もう片側のヒモをその輪に通します。通したヒモを引っ張り、絞り込んで結びます。



⑨シートベルトバックル部の奥はへらなどを使用し、生地を入れ込みます

## 2列目背もたれ

※2列目背もたれ（リクライニングレバー  
窓側装着車） 11ページをご覧ください。



⑩生地を入れ込むと図のようになります。



①2列目背もたれは、1列目と同様に  
取り付けます。

※リクライニングレバー部の取り付け  
は、11ページの③～⑤をご覧ください。



⑪カバーのラインを整え、2列目座面  
の完成です。



⑫平成24年5月頃の一部改良後のモ  
デルには、シート背面にチャイルド  
シート固定用のアンカーが付いてい  
ます。プラスチックカバーのフチに  
生地を入れ込むと図のように仕上  
がります。

## 2列目背もたれ（リクライニング レバー窓側装着車の場合）



①シートのラインからずれないようにカバーを全体にかぶせます。



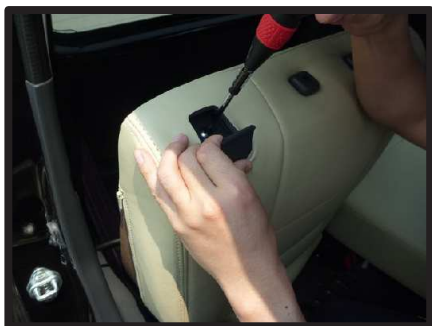
④ヘラなどを使用し、浮いた隙間に生地を入れ込みます。



②5ページの⑥同様、ヘッドレストの台座を取り出します。



⑤生地を挟み込みリクライニングレバーのプラスチック部を元に戻します



③図のリクライニングレバーの中にあるネジをドライバーで外し、プラスチック部を持ち上げ浮かせます。

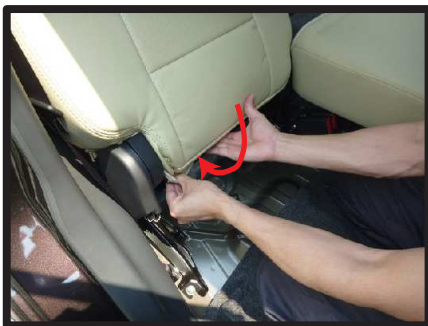


⑥カバー側面のジッパーを両方の生地を寄せながら閉めていきます。

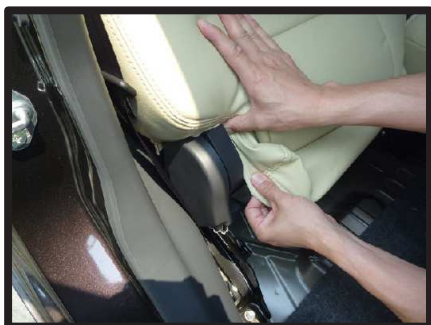




⑦背もたれ背面のカバーにはマジックテープが付いているので、シートに直接貼り付け固定します。



⑩カバー下部の生地を下に引っ張りながら背もたれ奥へ生地を入れ込みます。



⑧側面の生地を隙間に入れ込みます。

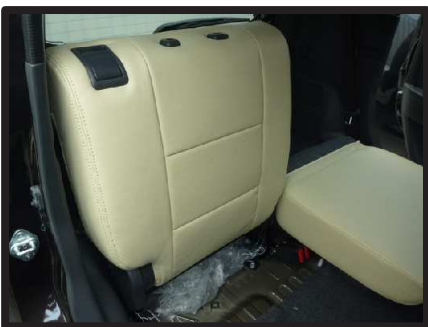


⑪⑩で入れ込んだ生地を背もたれ背面から引き出して、マジックテープを直接シートに貼り付け固定します。  
⑨でめくり上げたラゲッジボードを元に戻します。



⑨シート背面のラゲッジボードを図の様にめくり上げます。

※または、○印のピンを引き抜いてラゲッジ部分につながっている生地のみをめくり上げます。



⑫カバーのラインを整え、2列目背もたれの完成です。  
助手席側も同様に取り付けます。

# ヘッドレスト

※図は一部改良前のヘッドレストを使用しています



① 1列目ヘッドレストに、カバーを半  
分程裏返した状態でかぶせます。  
平らなプラスチックパーツが付いて  
いる方が前側になります。



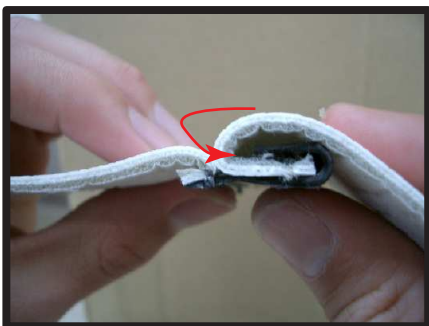
④カバーのラインを整え、1列目ヘッ  
ドレストの完成です。  
※一部改良後のヘッドレストも同様に  
取り付けます。



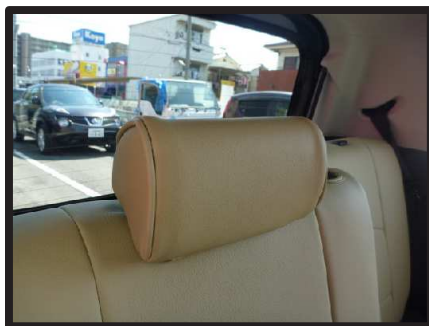
②ヘッドレストを台座から取り外し、  
カバー底面のプラフックで固定しま  
す。



⑤2列目ヘッドレストは、図のように  
カバーを前側からかぶせていきます。



③プラフックの固定方法は、図のよう  
に平らな形状の方を、生地ごと巻き  
込みながら、カギ状の方に引っ掛け  
るように固定します。



⑥1列目と同様にカバーを固定し、ラ  
インを整え、2列目ヘッドレストの  
完成です。

## アームレスト



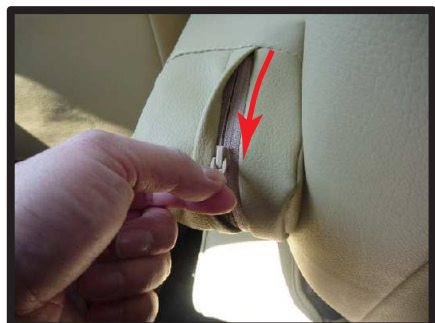
⑦一部改良後の2列目ヘッドレスト裏部分には、カバーにマジックテープが付いています。生地を内へ寄せながらマジックテープを固定します。



①5ページの③で取り外したアームレストに、カバーを半分程裏返した状態でかぶせます。アームレストの先端までしっかりかぶせて下さい。



⑧1列目同様にプラフックを固定します。



②取り外した逆の手順で、アームレストを元に戻し、カバーのファスナーを閉じます。

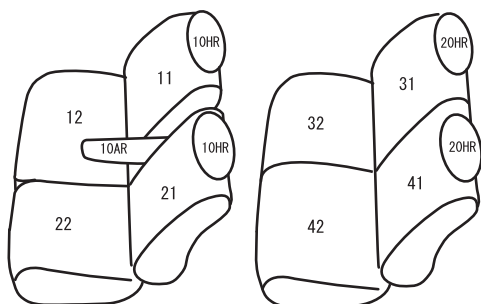


⑨カバーのラインを整え、一部改良後の2列目ヘッドレストの完成です。

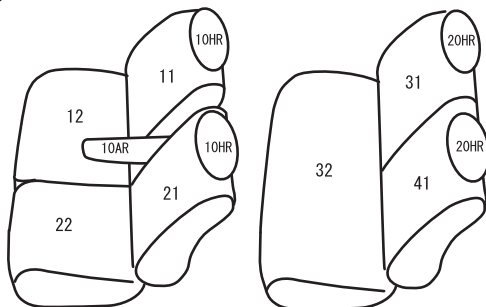


③カバーのラインを整え、アームレストの完成です。

# 本製品シート形状とパーツの名称

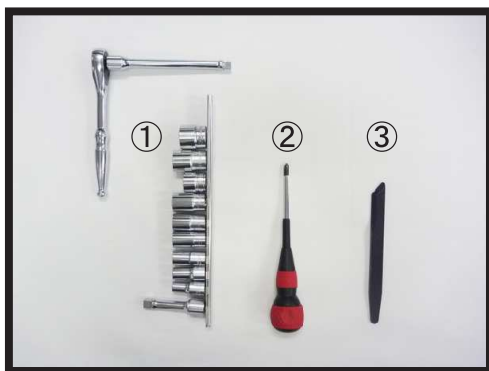


2列目座面分割シート



2列目座面一体型シート

## 取付必要工具



### 工具名

- ①ソケットレンチセット
- ②+ドライバー
- ③ヘラ